



決算説明資料

2023年6月期

2023年8月25日
日本システムバンク株式会社



証券コード
5530

目次

- 01 - 会社紹介
- 02 - 2023年6月期 決算報告
- 03 - 2024年6月期-2026年6月期 中期経営計画
- 04 - 2024年6月期 業績予想

01

会社紹介

企業理念

喜びの種をまこう

幸せの種をまこう

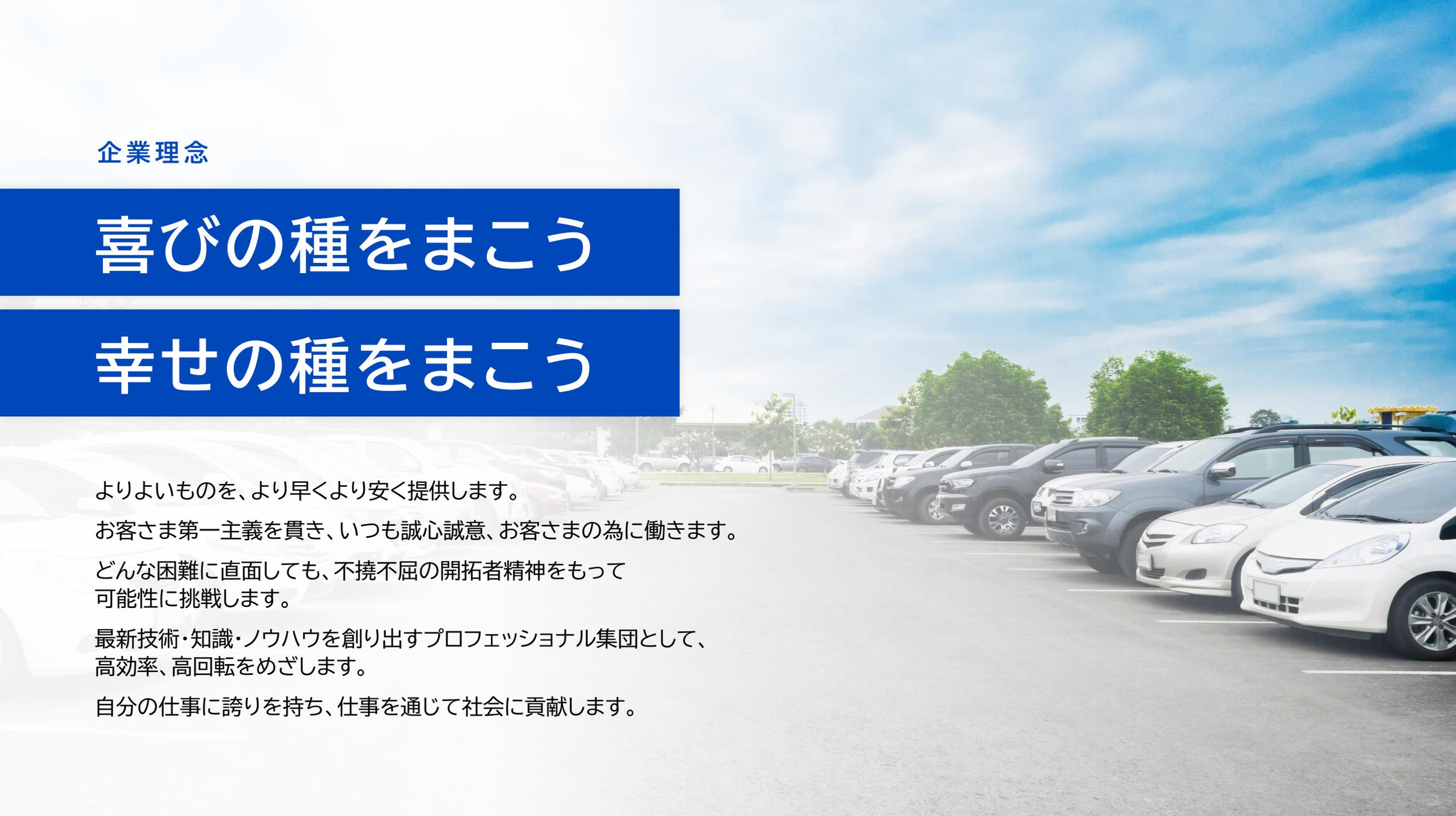
よりよいものを、より早くより安く提供します。

お客さま第一主義を貫き、いつも誠心誠意、お客さまの為に働きます。

どんな困難に直面しても、不撓不屈の開拓者精神をもって可能性に挑戦します。

最新技術・知識・ノウハウを創り出すプロフェッショナル集団として、高効率、高回転をめざします。

自分の仕事に誇りを持ち、仕事を通じて社会に貢献します。



会社名	日本システムバンク株式会社
設立	1996年7月10日
資本金	5億8,363万円（2023年6月末時点）
売上高	68億8,982万円（2023年6月期）
従業員数	227名（2023年6月末時点）
事業内容	コインパーキング事業 プロパティマネジメント事業
本社所在地	福井県福井市中央3-5-21 東京都渋谷区渋谷1-7-5
支店所在地	市川市、町田市、さいたま市、横浜市、長野市、富山市、 金沢市、福井市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、 福岡市
グループ会社	ノルテパーク株式会社(札幌市) システムパーク株式会社(仙台市) イーアド株式会社(福井市)

“

新たなステージに立ち向かうべく求められる進化

中期経営目標を定め

全社一丸となってこれに挑み、

駐車場業界に、社内に、革新を起こします。

”

代表取締役社長

野坂信嘉



事業概要

コインパーキング(CP)事業とプロパティマネジメント(PM)事業の2セグメント体制。主力のCP事業では、自らCPを経営する「CP運営ビジネス」と、CPシステムの構築・保守を行う「CPシステム販売保守ビジネス」を展開

コインパーキング事業

CP運営ビジネス



- 土地を借り上げ、直営駐車場として運営

CPシステム販売保守ビジネス



- ニーズに応じた機器の選定・造成工事
- システム保守・コールセンターサービスの提供

プロパティマネジメント事業



- テナントビル賃貸ビジネス

連結売上高※ 構成

98.2%

1.8%

管理駐車場
構成

件数※

16.3%(1,201件)

83.7%(6,171件)

車室数※

16.5%(22,507車室)

83.5%(113,799車室)

※ 2023年6月期実績

競争優位性

機器調達力と豊富なノウハウから生み出される、利用者満足度の最大化が競争優位として機能



機器調達力

10社以上のメーカーからの製品調達と
研修・情報共有



豊富なノウハウ

25年以上の事業活動により蓄積された
利用者ニーズ、最適なCP設計・経営の知見

要件定義



土地／駐車場オーナーの
ニーズをとらえた最適解と
なるCPの提案力

CP設計・開設



多様なCP機器・技術を組み
合わせ、オーナー・利用者双方
に利益をもたらすCP構築力

CP運営



自社運営のコールセンター
と保守の連携による、駐車場
管理に適したきめ細やか・
的確・スピーディな対応力

駐車場経営を成功に導くシステム

オンリーワンの総合商社スタイル

— 主な提供価値

ノウハウ・実績に基づいたCP設計・経営を実現することで、駐車場オーナーの駐車場管理の負担軽減・利益の確保、土地オーナーの土地有効活用を叶える。安全・安心なサービス提供により、利用者の利便性向上にも貢献

駐車場管理の負担軽減、 利益の確保の実現



個別ニーズに応じて運営方法・機器・サポートを提案・提供できるため、情報収集や管理作業の負担削減が可能に

対 駐車場オーナー



土地有効活用の実現



立地・規模に関わらず、知見に基づく最適なプランでCP用地への転用を提案できるため、資産の有効活用が可能に

対 土地オーナー



利便性・安心感の向上



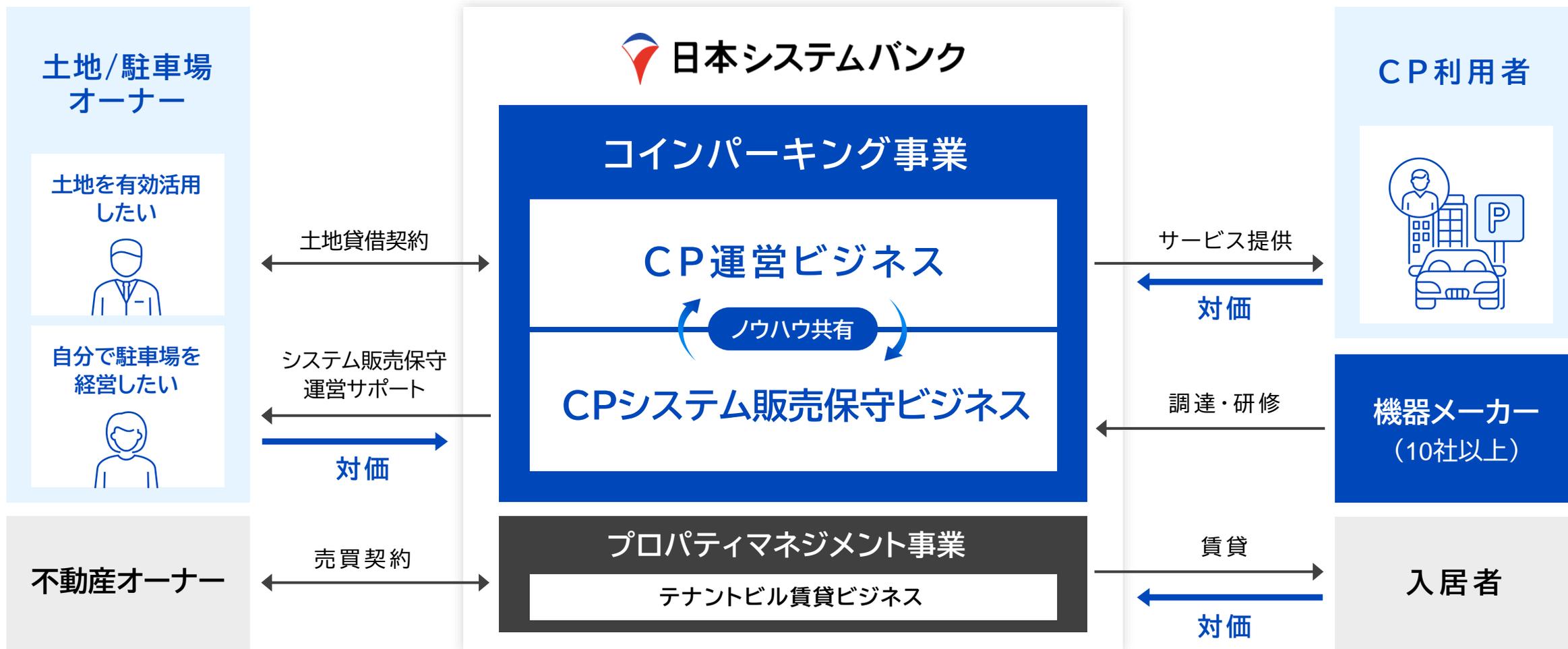
独自の専門サポートにより、スピーディーな対応ができるため、安心・便利・快適の向上が可能に

対 CP利用者



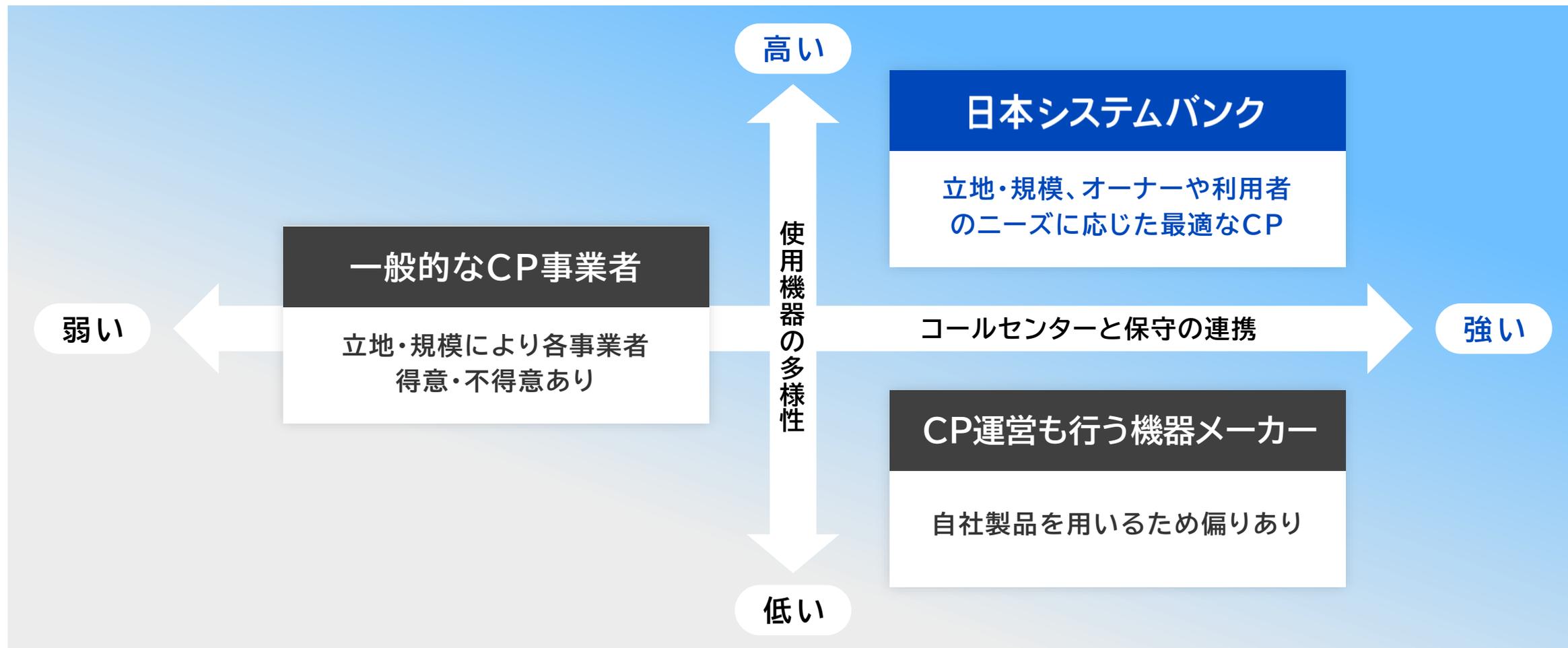
ビジネスモデル

CP運営ビジネスとCPシステム販売保守ビジネス間でノウハウを共有することにより、シナジーを発揮。
土地／駐車場オーナー、CP利用者など多様な顧客への提供価値を高め、安定した収益源を確保



当社のポジショニング

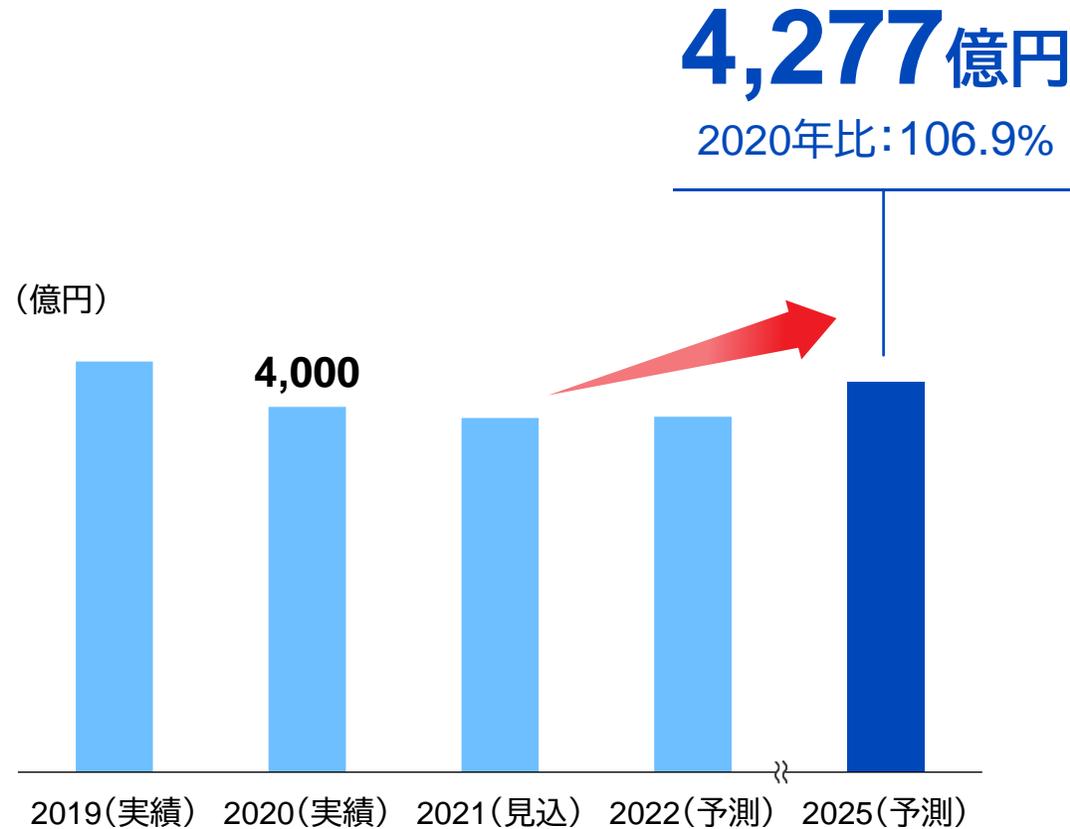
使用機器の多様性と利用者・オーナーに寄り添うサポート体制を兼ね備えたCP事業者として、業界内でもユニークなポジションを形成



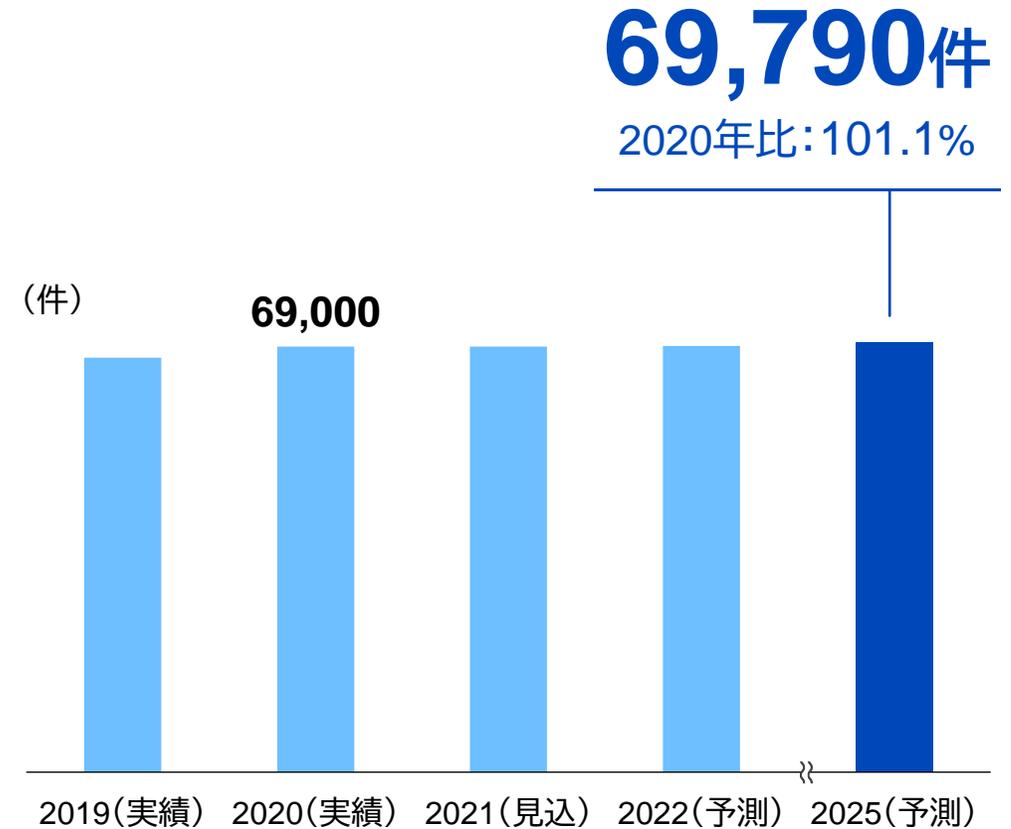
市場の展望 国内コインパーキング市場

国内コインパーキング市場は、コロナ影響で一時的に落ち込んだものの、2021年には回復。
拠点数は遊休地の活用法として安定した推移が続く見通し

国内コインパーキング市場規模



国内コインパーキング拠点数(ストック)

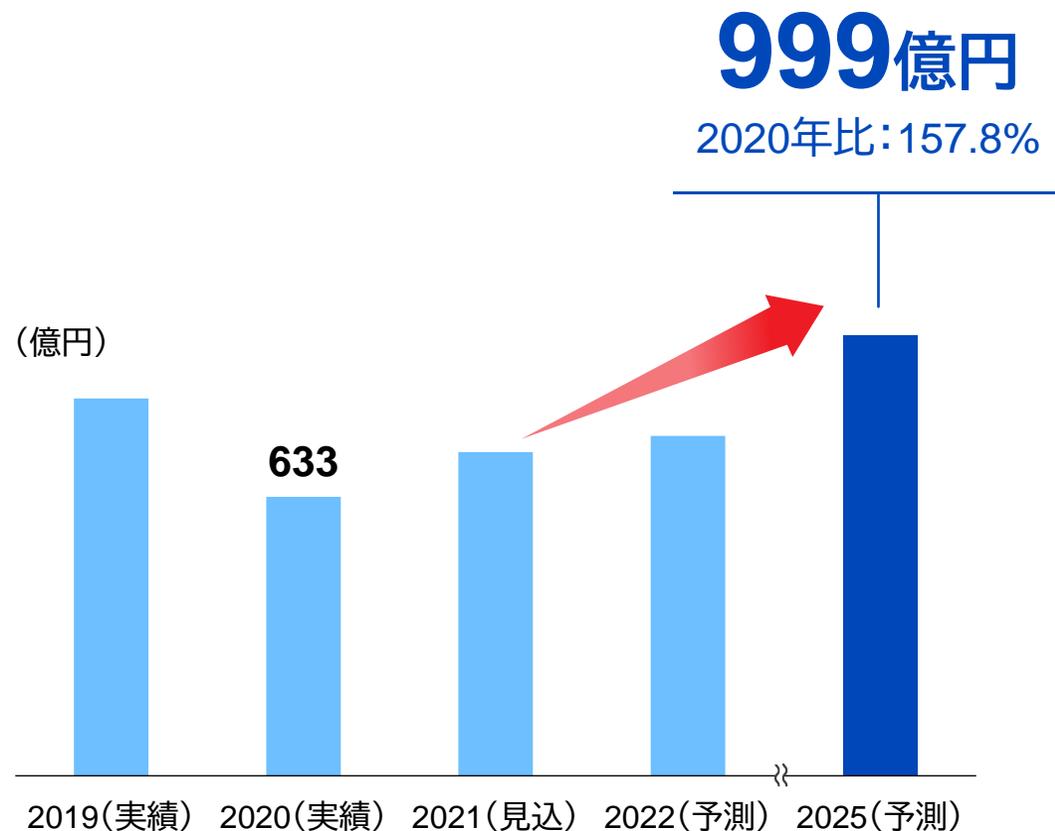


出典:株式会社富士経済 モビリティ・インフラ&サービス関連市場の将来展望 2022(2021年10月25日発行)

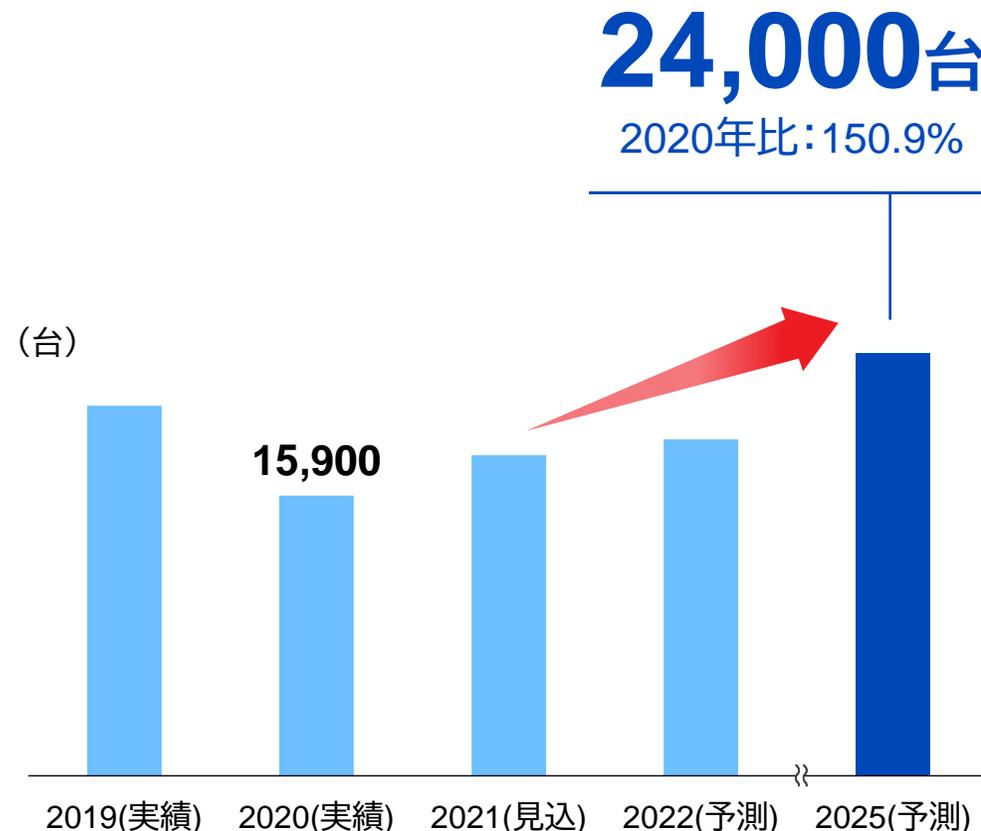
市場の展望 国内駐車場管理システム市場

近年では、新型コロナ影響で新設を慎重に行う動きがあり微増にとどまる。
しかし長期的には、新設や既存施設の機器入替需要から、継続的な市場拡大が予想される

国内駐車場管理システム市場規模



国内駐車場管理システム数(フロー)



出典:株式会社富士経済 モビリティ・インフラ&サービス関連市場の将来展望 2022(2021年10月25日発行)

02

2023年6月期 決算報告

売上高

68.8億円

前期比 +1.7%

営業利益

4.3億円

前期比 +21.4%

親会社株主に 帰属する 当期純利益

2.6億円

前期比 +48.2%

外部環境

- ・ 新型コロナウイルス感染症に係る各種制限の段階的な緩和で、人流が回復し車利用者増
- ・ 国際情勢不安による原油価格高騰に起因するガソリン高で、車利用へのネガティブ影響が一部あり

各事業への影響

CP運営

全国的に繁華街・駅近のパークアンドライド型駐車場を中心にコインパーキングの稼働率が上昇した

CPシステム 販売保守

既存のコインパーキングの稼働率の上昇に伴い、駐車場運営事業者の新規開設意欲が上昇するも、新規開設時に過去のコロナ禍対策によりだぶついた中古機器を使用するケースが散見された

PM

人流回復の影響により需要が安定し、入居率は横ばいで推移

連結業績

コインパーキング事業が好調に推移し増収。増収効果およびコインパーキングの稼働率の上昇により営業利益以下改善

(百万円)

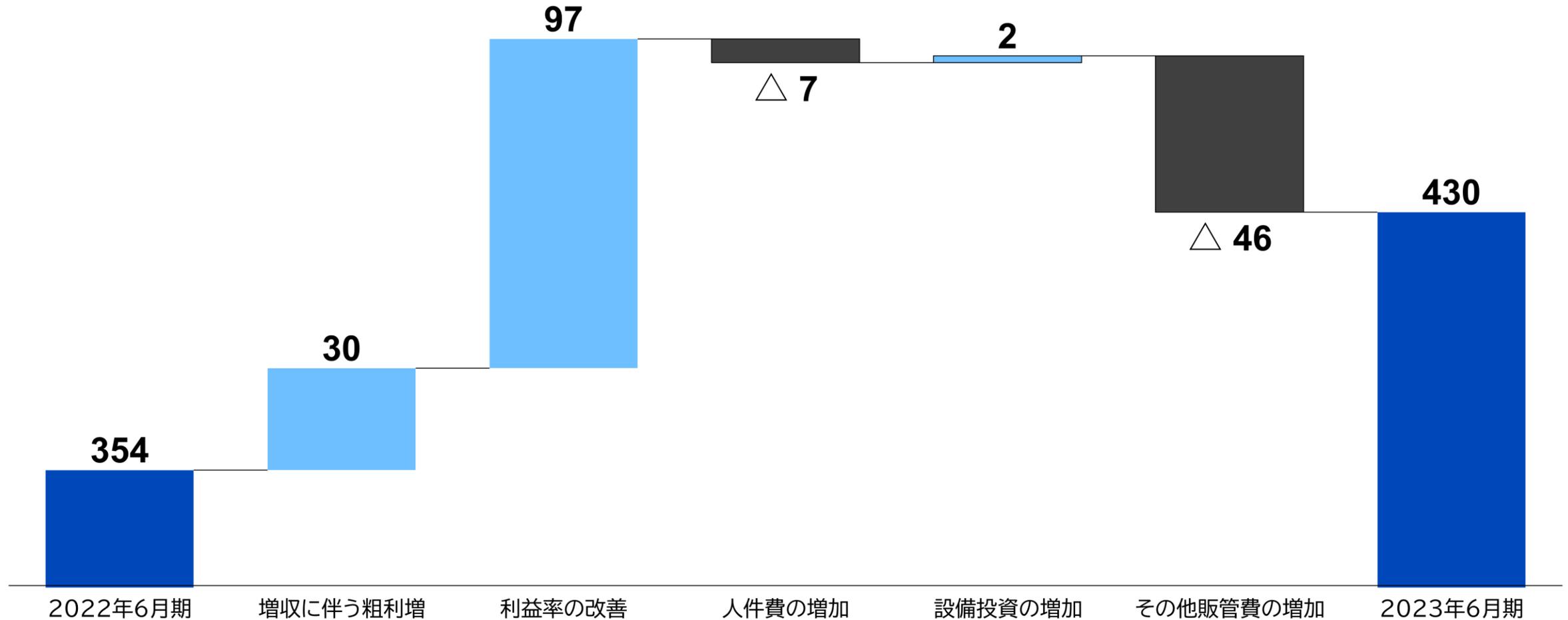
	2022年6月期 実績	2023年6月期		前期比 (増減額)	2023年6月期 予想※	前期比
		実績	売上比			
売上高	6,776	6,889	—	+1.7% (+113)	6,756	△0.3%
営業利益	354	430	6.2%	+21.4% (+75)	383	+8.2%
経常利益	340	423	6.2%	+24.6% (+83)	364	+7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	179	265	3.9%	+48.2% (+86)	215	+20.3%
1株当たり当期純利益	171.86円	249.58円	—	+77.72円	188.48円	+16.62円
自己資本利益率(ROE)	11.5%	14.4%	—	+2.9pt	-	-

※ 2023年4月14日公表値

連結営業利益 増減分析

増収・利益率の改善効果により、人件費及びその他販管費の増加を吸収

(百万円)



連結貸借対照表

有形固定資産は、中長期的な成長に向けた土地・機器の取得により増加。

新規上場による資金調達により、成長投資をしながらも、自己資本比率向上・D/Eレシオ低減を実現し、健全性を維持

(百万円)

	2022年 6月末	2023年 6月末	増減額
流動資産	2,356	2,163	△192
現預金	1,618	1,428	△190
売掛金・ 前払費用等	591	595	+4
棚卸資産	91	101	+9
固定資産	4,576	4,710	+133
有形固定資産	4,172	4,281	+108
無形固定資産	81	69	△11
投資その他の資産	322	359	+37
資産合計	6,933	6,874	△58

	2022年 6月末	2023年 6月末	増減額
流動負債	2,088	1,999	+88
買掛金・未払費用等	490	523	+33
長期借入金 (1年以内返済)	749	729	△20
預り金	352	372	+20
固定負債	3,189	2,826	△363
長期借入金	2,568	2,212	△355
純資産	1,655	2,048	+393
利益剰余金	598	812	+213
負債・純資産合計	6,933	6,874	△58
自己資本比率	23.9%	29.8%	+5.9pt
有利子負債	3,457	3,013	△443
D/Eレシオ	2.09倍	1.47倍	△0.62pt

連結キャッシュ・フロー

営業活動によりキャッシュを確保し強固な財務基盤を構築しつつ、中長期的な事業成長のための投資・株主還元を強化

(百万円)

	2022年6月期 実績	2023年6月期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	737	549	74.4%
税金等調整前当期純利益	327	393	120.4%
減価償却費	318	320	100.5%
売上債権の増減額(△は増加)	20	26	129.1%
仕入債務の増減額(△は減少)	0	34	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	123	△119	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	26	△415	-
有形固定資産の取得による支出	△210	△411	195.0%
有形固定資産の売却による収入	300	17	5.8%
フリー・キャッシュ・フロー	764	132	17.4%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△579	△323	55.8%
長期借入れによる収入	300	800	266.7%
長期借入の返済による支出	△822	△1,175	142.9%
株式の発行による収入	-	172	-
配当金の支払額	△5	△52	1,000.1%
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	184	△190	-
現金及び現金同等物の残高	1,618	1,428	88.2

- CP用地を取得
(土地の増加)
- CP機器を取得
(機械装置等の増加)

増配による支払増

03

2024年6月期 - 2026年6月期 中期経営計画

取り巻く環境と目指す姿

事業環境の変化を踏まえ、企業理念を追求する中期経営計画を策定

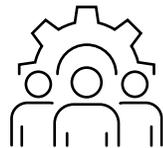
社会課題(外部環境)

- 地球環境保全・災害対策
- 行動様式の変化
- CASE
- 地方創生
- 少子高齢化



経営課題(内部環境)

- 社会価値の追求
- 品質の維持・向上
- 新サービス開発
- 人材育成
- コーポレートガバナンス



“

企業理念

喜びの種をまこう 幸せの種をまこう

”

中期経営計画

安心・安全・快適な駐車場づくりを推進し、
より多くのお客様にとっての
「First Choice」を目指す。

安心

First Choice

選ばれる駐車場

安全

快適

基本方針

直営駐車場の安定化・駐車場運営事業者サポート強化・品質向上を柱に、CP事業の成長を追求。加えて、持続可能な成長に資する、上場企業にふさわしい内部統制を実現

事業戦略

- 01 -

主力事業の拡大

- 機器・システム・料金の最適化や施設リフレッシュを通じた直営駐車場の盤石化
- 顧客ニーズを的確にとらえた新たなサービス・機器の開発
- 土地オーナー向け機器販売の強化。管理・保守によるストックビジネスの推進

- 02 -

サービス品質の向上

- 自社運営コールセンターと全国保守ネットワークを活用した専門サポートの強化
- カメラを起点とした管理精度向上(防犯・故障発見等)

経営基盤強化

- 03 -

コーポレートガバナンスの強化

- 社外役員の多様性・専門性を活かした意思決定の高度化
- 顧客・案件情報管理のシステム化、DXを見据えたITによるリスクマネジメント

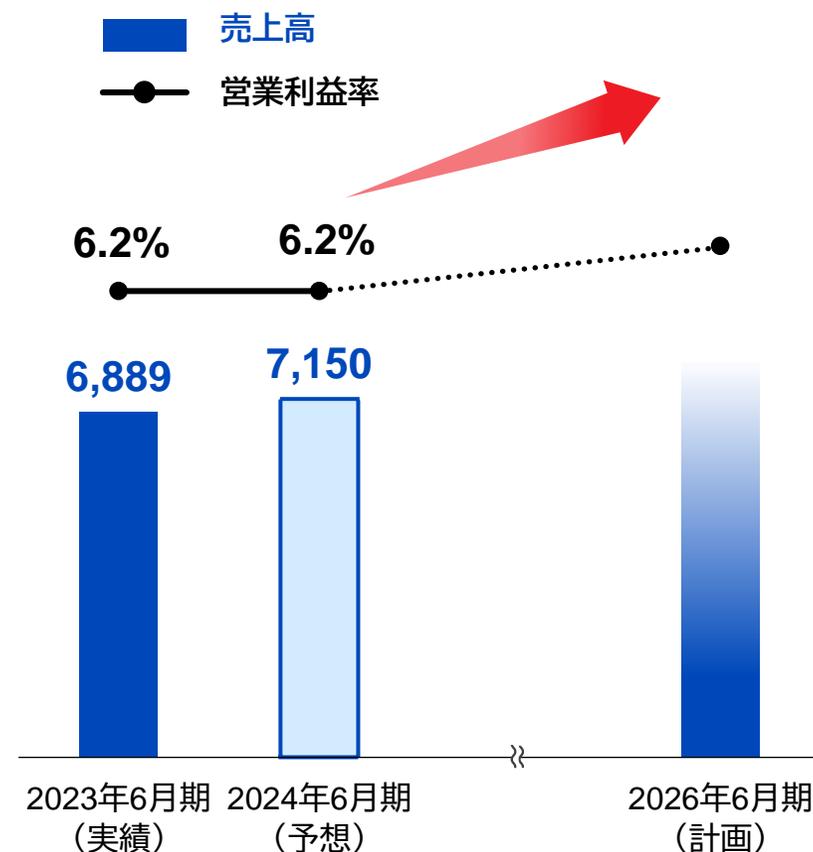
定量目標

効率よく利益を創出することを追求し、中計期間中の営業利益率は6%以上、ROE、ROAは最終年度に現状を上回る数値を設定

(百万円)

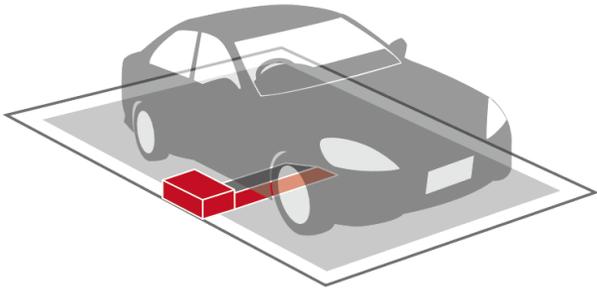
	2023年6月期 実績	2024年6月期 予想	前期比 (増減額)
売上高	6,889	7,150	+3.8% (+260)
売上総利益(前期比)	1,920	1,979	+3.1% (+59)
同利益率	27.9%	27.7%	△0.2pt
営業利益(前期比)	430	444	+3.3% (+14)
同利益率	6.2%	6.2%	0.0pt
ROE(前期比) 自己資本当期純利益率	14.4%	12.3%	△2.1pt
ROA(前期比) 総資産経常利益率	6.1%	5.8%	△0.3pt

最終年度目標イメージ



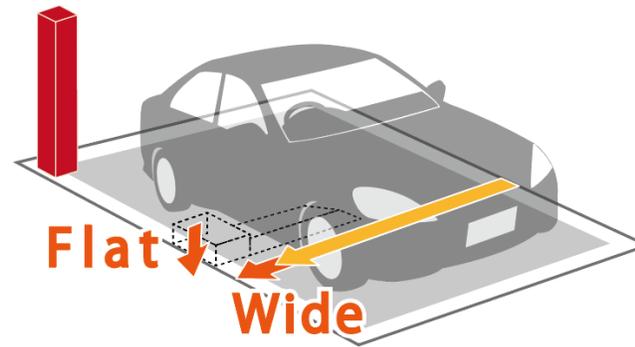
直営駐車場・受託管理駐車場の双方に対し、機器・システムの最適化を推進。その一環として、自然災害に強く、幅広い利用者の安全性・安心感の向上に貢献するフラップレス駐車場を推進

従来のフラップ式駐車場



- フラップの幅分、駐車スペースが狭くなる
- 機器故障時は出庫できないケースがあるためクレーム化しやすい

フラップレス駐車場

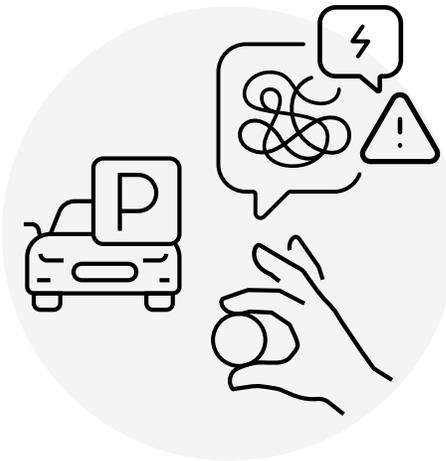


降雪時は除雪車を用いて早期復旧が可能

- 駐車スペースを広く確保できる
- 駐車・乗降車がスムーズで利用者の転倒リスクも少ない
- 降雪や冠水などの自然災害に強い

利便性を高める機器・サービスを強化。従前より稼働や地域に応じて最適な決済機器を選定してきたが、
 今後はニーズの高まるキャッシュレス決済システムの導入をさらに加速

現金精算の場合



- ・硬貨つまり・識別不良などが起きやすくクレーム化しやすい



キャッシュレス決済の場合



- ・キャッシュレス化等によってトラブルの発生を削減

例

高いキャッシュレス決済率が見込まれる地域は、交通系電子マネーやQR決済が可能な決済機を導入



駅周辺



大規模駐車場



駐輪場



マルチ決済機

利用者の特性に応じた
 最適な決済により快適度向上

利用者・オーナーの双方にとってストレスフリーで安全・安心・快適な駐車場の運営に向け、
日常の保守点検・コール業務のさらなる改善に注力

有資格者による定期点検・早期復旧



- ・メンテナンススタッフの資格取得推進により、保守点検作業の品質を高め、故障を未然に防止

もしもの時もつながりやすいコールセンター



- ・一次窓口となる自社運営コールセンターの品質維持
- ・トラブルの未然に防止による入電数の減少も目指す

連携強化

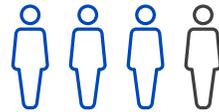
スピード・技術力の高い保守管理を継続

6名の社外役員が多様性・専門性や適切な関与・助言等を通じて、取締役会の議論や意思決定の高度化を図る。
経営の健全性と透明性を確保するとともに、内部統制・コンプライアンスを徹底する

社外役員が多様性・専門性の活用



社外3名・社内4名



社外3名・社内1名

社外役員比率

42.9%

社外役員
の
主要スキル・経歴

・ 弁護士 ・ 会社経営者

75%

・ 会社経営者 ・ 政策立案
・ 経理・財務・会計 ・ 大学教授

- ・ 社外取締役3名、社外監査役3名が就任し全員が独立役員として届出済み。
法律・経営・財務等の高度な専門知識と豊富な経験を意思決定に取り込む

内部統制の強化



- ・ ITを活用したリスクマネジメント・
情報管理を推進

設備投資計画

本中計で創出するキャッシュを、事業成長を支える設備投資に重点的に配分

中計期間
創出キャッシュ
約11億円

内部留保

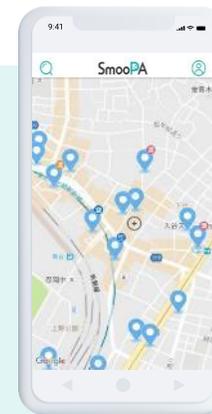
成長のための
設備投資

IT投資

方針

主力のコインパーキング事業の更なる拡大に資する設備投資・サービス開発を中心に資金を振りむける

項目	キャッシュ配分
フラップレス駐車場・キャッシュレス決済機	約70%
老朽設備のリフレッシュ	約20%
新機器開発・研究	約5%
SmooPAの拡販・新機能テスト	約5%



SmooPA

駐車場検索&決済アプリ
SmooPA(スムーパ)

- 空いている駐車場を一発検索
- アプリ上でキャッシュレス決済
- 法人一括請求サービスを利用すれば経費精算の手間も軽減

方針

内部統制の強化と業務効率化を実現するシステムやITツールを導入する

主な取組

- 顧客情報および案件情報の一括管理・基幹システム構築
- ITを活用した各種リスクへの対応 ※災害リスク、不正および犯罪リスク、法令違反リスク等
- 既存システム改修

サステナビリティ推進

働きやすい職場環境の実現や、本社のある福井への貢献を継続。今後も事業活動を通じた地方創生・社会への貢献を目指す

子育てサポート企業 認定



- 「次世代育成 支援対策推進法」に基づき、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備に取り組んでいる事業主として厚生労働大臣より認定。
- 育児と仕事の両立に取り組む社員を支援

地域産業の活性化



- 福井で活躍している作家の工芸作品を扱う店舗。地域産業活性化や伝統文化承継を図る

04

2024年6月期 業績予想

業績予想

直営及び管理受託の運営駐車場・駐輪場数の増加により、売上高、営業利益及び経常利益は成長する見込み
親会社に帰属する当期純利益は、法人税等調整額の増加により横ばいとなる見込み

事業環境	外部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナ5類移行に伴う消費拡大や、企業において出社・出張に戻す動きが見込まれる ・ 政情不安・原燃料価格の不透明感は継続する見通し
	内部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上場企業としての内部統制やサステナビリティなどを強化

	2023年6月期 実績		2024年6月期 予想		増減率(増減額)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	3,367	6,889	3,566	7,150	+5.9% (+198)	+3.8% (+260)
営業利益	257	430	268	444	+4.3% (+11)	+3.3% (+14)
経常利益	252	423	264	432	+4.7% (+11)	+2.0% (+8)
親会社株主に帰属する当期純利益	152	265	168	262	+10.6% (+16)	△1.4% (△3)

配当予想

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、成長に向けた投資と安定した配当を継続して実施

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期 予想
1株当たり配当金(円)	31.0	63.0	53.0
中間配当金	5.0	24.0	24.0
期末配当金 (内、上場記念配当)	26.0 (-)	39.0 (10.0)	29.0 (-)
配当金総額(百万円)	32	69	-
配当性向	18.0%	25.2%	23.1%



免責事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しています。なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。